

パルシステム生活協同組合連合会 概要と有機農産物販売状況

パルシステムの概要

2025DATA ※3月31日現在

会員数: 13会員

活動エリア: 1都12県
(宮城県※/福島県/茨城県/
栃木県/群馬県/埼玉県/千葉県/
東京都/神奈川県/新潟県/
山梨県/長野県/静岡県)

※ 宮城県では「あいコープみやぎ」が
パルシステムの商品を取り扱っています。

総組合員数: 176.2万人

会員生協総事業高: 2,604.2億円

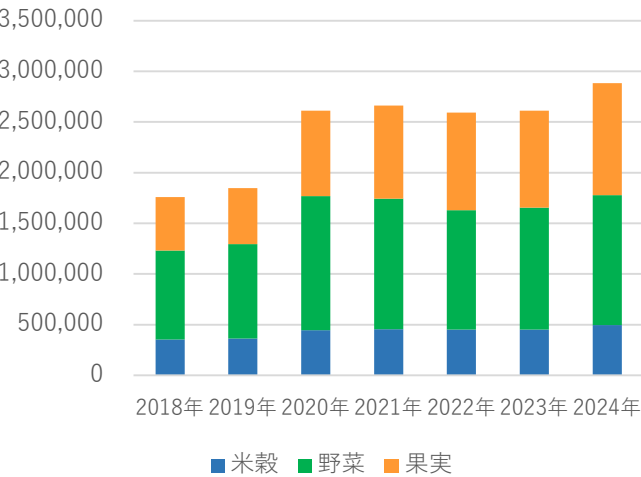
供給高: 1,811.0億円

出資金: 158.7億円

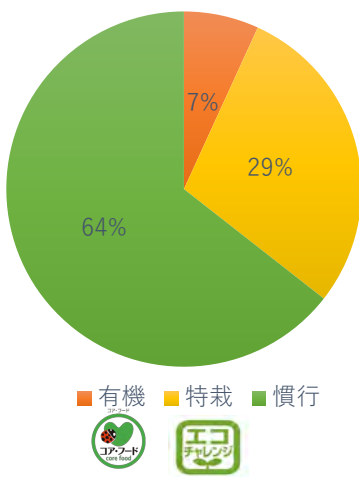


有機農産物 取り扱い状況

有機農産物 取り扱い高推移 (千円)



生産区分別比率



カタログの有機ページ



定期購入 (予約登録米・野菜ボックス)



有機・特裁 (エコ) 専用チラシ



産直365 生産者の想いを伝えるチラシ



オンラインショップ こだわり品 小ロット販売



有機農産物の販売・生産の状況と課題

【野菜の状況・課題】

- ・ 輸送ロス・品質クレーム発生率・欠品発生率等、慣行品と遜色のない産地が増えており、全体のレベルは上がっている。
- ・ 猛暑・暖冬・干ばつによる病虫害被害多発や出荷量減少と作付け時期の変動
- ・ 人手不足による除草問題の発生と一部時期・品目の生産縮小
- ・ 余剰と不足の極端化→産地リレーの見直し
- ・ 物流費の高騰による小ロット企画の仕入れ高上昇

【米の状況・課題】

- ・ 2021年828 t /年ピークも24年度は774 t /年と減少需要>生産で不足傾向
- ・ 高齢生産者の離脱もあり、小規模産地含めた配置強化を実施。

【果物の状況・課題】

- ・ 国産果実の生産自体が減退し、有機果実も減少傾向。
- ・ 天候不順・猛暑・病虫害・鳥獣害の多発で不作が続いている。

【その他の状況・課題】

- ・ 国産・有機加工原料調達への強い要望
- ・ 有機学校給食協力への期待
- ・ オーガニックヴィレッジ取り組み自治体との連携

【課題に対して当会がとっている対応】

①組合員理解の醸成 広報・産地交流強化

公開確認会・オーガニックフェス・オンライン交流会

②価格転嫁協議と規格の柔軟化

③生産者間の技術・経営交流の強化

(有機のみ 栽培区分超えた交流も)

④新規産地の開拓

⑤生き物調査やCO2削減等見える化



【今後の有機農業の推進に向けての提言】

①物流・集出荷支援の強化

小ロット・遠方の輸送支援

集出荷施設等物流関連施設の利用支援（地域有休施設の仲介等）

産地づくり支援 特定品目の栽培強化による産地化・広域流通支援

②気候変動対策・技術開発

- ・ 小規模・路地栽培生産者向けの猛暑対策のためのハウス施設・環境制御技術の導入支援事業
- ・ 路地栽培向けのIPM・有機農業技術開発支援
- ・ 各地域の営農相談先の設定

③収入保険等、経営リスク低減の情報提供

④公共調達支援

- ・ 学校給食へのサプライチェーン構築の支援。長期休暇対策。

⑤生物多様性等、ポジティブな影響の見える化の推進。評価指標づくり。